

1. 気象概況（中野市長丘地区気象ロボット観測データによる）

月間	旬別	上旬		中旬		下旬		月間		特記・コメント
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
6月	平均気温（℃）	18.6	19.0	20.2	20.0	22.1	21.7	20.3	20.2	平年月間比+0.1℃
6月	降水量（mm）	67.5	20.2	41.0	40.8	76.0	46.9	184.5	107.9	平年月間比 171%
6月	日照量（h）	67.2	72.5	57.6	55.7	47.8	54.2	172.6	182.5	平年月間比 95%

2023 6月上旬気象ポイント

- ◆ 気温：最高気温 31.0℃（6/26） 最低気温 6.8℃（6/1） 6月真夏日観測合計 4日
- ◆ 梅雨入り：6/8（平年比 1日遅い。昨年比 2日遅い。） 降雹：6/28 平岡・長丘地区 被害額算定は無し
- ◆ 日照量：上旬平年比 92%、中旬平年比 103%、下旬平年比 88% *多雨による日照不足
- ◆ 降雨 10mm以上記録日：45.0mm（6/2）、16.0mm（6/9）、14.0mm（6/15）、12.5mm（6/16）、11.0（6/22）、24.0（6/28）、34.5（6/30）
- ◆ 降水量（平年比）：上旬 67.5mm（334%）極多、中旬 41.0mm（100%）平年並み、下旬 76.0mm（162%）多 *病害感染注意

2. 生産の経過・病虫害発生状況・今後の対策

凍霜害：4/10、4/25 低温遭遇（-3.2℃、-3.4℃）。アスパラガス被害あり。

管内平坦地中心に、リンゴ、モモ、プラム、ナシ、サクランボ等で、凍霜害の影響が散見される。

加温ハウス：サクランボ 12棟。初出荷：4/2。ピーク 5/15。最終：6/25。数量（昨対）90%
：ハウスもも 1棟 初出荷（日川）：4/26 最終：5/22。数量（昨対）95%。
：ぶどう棟数は昨年並み。初出荷は 4月下旬頃。出荷進度は早める見込み。シャインピーク 8月初旬頃。

① 生育情報

満開：太陽 4/6、白鳳 4/11、佐藤錦 4/14、南水 4/13、ラフランス 4/13、ふじ 4/21 *平年比△10日程度。

落花：太陽 4/16、白鳳 4/19、佐藤錦 4/24、南水 4/22、ラフランス 4/23、ふじ 4/29 *平年比△7日程度。

② 生産基盤 2023（推定）

ぶどう 230ha・りんご 144ha・もも 86ha・プラム 35ha・和梨 10ha・桜桃 7ha・柿 6ha・西洋梨 5ha

③ ぶどう 2023

- ◆ 全体：シャイン・ルージュ自然増見込。巨峰・パープル面積減見込。ぶどう全体の生産量は昨対 110～115%を見込む。
- ◆ 開花：巨峰 6/7頃、シャイン 6/10頃 *平年比+1～2
- ◆ 満開：巨峰 6/13頃、シャイン 6/17頃 *平年+1～2
- ◆ 5～6月天候不順や低温等により生育停滞。開花は平年より遅れた。加えて開花のバラツキが過去になく大きかった。
- ◆ カイガラムシ類・スカシバ・ケムシ類の越冬世代の発生は平年より早い傾向があったが、大きな被害なし。

④ 立木果樹特記

- ◆ 収穫開始：サクランボ（佐藤錦）6/7、プラム（大石早生）6/23、もも（タマキ）7/10。*R3年並の生育
- ◆ りんご：肥大平年比 110%（6/15）。品種全般、中心果結実率が例年よりも劣り、斜形果・サビが散見。一部、黒星病散見。
- ◆ もも：肥大平年比 %。6月上中旬頃から生理落果が散見される（双胚果）。川中島白桃結実不足。せん孔細菌病散見。
- ◆ ナシ：肥大平年比 100%（6/15）
- ◆ プラム：6月上旬頃から太陽など中心に生理落果が散見される。幼果期の強風等により、スレ・サビ・キズなど散見。

⑤ 病虫害 2023 重点対策

- ◆ 黒とう病：6月下旬感染あり（葉等）。一部で粒感染が確認されるが、大きな被害となっていない。
- ◆ 晩腐病：6月下旬～7月上旬に感染心配される。巻きひげ除去徹底。梅雨期間の防除徹底。
- ◆ ぶどう主幹害虫：粗皮削り。主幹部への殺虫剤塗布。盛夏期の専用剤の特別散布等。
- ◆ リンゴ腐らん病：R7年ベフラン液剤 25販売終了に伴い、腐らん病の発生密度が高まると予想される。
重症（骨格枝の半周以上が罹患）の場合は切除する。小枝・中枝が感染している場合も同様。
軽症で削り取りを行なう場合は茶色く変色している部分が残らないよう処理する。
- ◆ リンゴ黒星病：5月末頃から葉病斑、果実病斑を確認。6月中旬から、新梢先端～3枚目の葉に病斑散見。治療痕もあり。
- ◆ ももせん孔細菌病：開花期～春型枝病斑、5月中旬～葉病斑、5月下旬～果実病斑を確認。昨年よりも発生密度が高い
- ◆ スモモヒメシクイ：6/28～第一世代増加中。一部、果実被害散見。